

[U1] ITパスポート

Part I - 質問を読んで、下の4つの選択肢からもっと適切なものを選んでください。

(1) Single choice

開発するソフトウェアについて、次のような要件は、ソフトウェアの品質特性にあてはめるとどれにあたる

- 移植性
 - 使用性
 - 信賴性
 - 保守性

(2) Single choice

開発担当者のAさんは、入力データが仕様書どおりに処理されるかを確認するために、プログラムの内部構造

- ホワイトボックステスト
 - ボトムアップテスト
 - ブラックボックステスト
 - トップダウンテスト

(3) Single choice

ソフトウェア保守に関する記述として適切なものはどれか。

- システム稼働後に発見されたプログラムのバグの改修はソフトウェア保守にはあたらない。
 - システム稼働後に、システムの安定稼働、IT（情報技術）の進展や経営戦略の変化に対応するために、フ
 - システム稼働後にソフトウェアのバージョンアップを行った際に一部のプログラムに不具合が発生した。
 - システム開発が完了し、開発環境から本番環境に移行した。その際、一部のプログラムに不具合が発生し

(4) Single choice

A社では、新たに営業支援システムを開発することになった。システム化にあたって、入出力画面や出力帳票

- ボトムアップ見積法
 - プログラムステップ法
 - ファンクションポイント法
 - 類推見積法
-

(5) Single choice

次の作業はシステム開発プロセスのどの段階で実施されるか。

実務に精通している利用者に参画してもらい、開発するシステムの具体的な利用方法について分析を行う。

- システム設計
 - テスト
 - プログラミング
 - システム要件定義
-

(6) Single choice

ソフトウェアの品質を判定する指標として、機能単位の不良件数をその開発規模で割った値を「不良密度」

○ イ ○ エ ○ ウ ○ ア	機能	開発規模 (KS)	A工程の 不良件数 (件)	B工程の 不良件数 (件)
(7) Single choice	機能 1	10	6	3
システム開発後にプログラムの修正や変更を行うことを何というか。	機能 2	20	14	10
○ 要件定義 ○ ソフトウェア保守	機能 3	50	10	40
○ システム化の企画 ○ 工	機能 3	80	32	8

ソフトウェア受入れに関する記述で適切なものはどれか。

- 開発者が実施し、利用者は関与しない。
- 開発者が主体となり、利用者の協力して実施する。
- 利用者が主体となり、開発者は教育訓練などサポートする。
- 利用者が主体となり、開発者は関与しない。